

2015年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科						
科目名	基礎数学						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次前期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/必修科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)						
担当者	喜屋武 毅						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な角での三角関数の値がわかる。(A1)</li> <li>・単振動の物理量(振幅、周期、周波数、位相)がわかる。(A1)</li> <li>・複素数をいろいろな表示に変換できる。複素平面上での扱い方に慣れる。(A1)</li> <li>・行列の和、差、積の演算ができる。2次、3次の行列式を計算することができる。(A1)</li> <li>・行列と行列式を使って連立1次方程式を解くことができる。(A1)</li> </ul>						
日程と内容	04/10 導入講義 04/17 複素数・複素平面 04/24 複素数の性質 05/01 複素数のいろいろな表現 05/08 マクローリン展開・オイラーの公式 05/15 ド・モアブルの定理 05/22 中間試験(小テスト) 05/29 行列とその演算 06/12 逆行列と特殊行列 06/13 行列式とその性質(1) 06/19 行列式とその性質(2) 06/26 ベクトルとその演算 07/03 スカラー積 07/10 ベクトル積 07/17 総合演習 07/24 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験	30%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	講義内容については、達成目標のいずれの項目も概ね達成している。						
反省点	前年度の反省から授業内容の進行を変更し、リメディアル数学との連携を図った。その結果、講義内容の連携で学生の理解度の助けになったかも知れない。しかしながら、学力格差の広がり有一段と感じられた学年だけに、成績の上位学生と数学が苦手な学生への配慮などで、さらなる改善と工夫が必要である。						
来年度の計画	次年度より「リメディアル数学」と「基礎数学」の内容を統合して、「基礎数学」となる。講義内容の削減予定はないが、授業内容をうまく統合・精査して、学生の理解度が深まるように授業計画を立てる。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8.6で前年度から0.9ポイント改善した。前年度より学生の学力格差が拡大した感が否めないが、リメディアル数学の授業との連携が良くなり、評価に反映されたと考える。次年度の授業計画にて講義内容を精査し、この傾向を維持できるようにしたい。また、全体的な底上げを目指して、演習問題を課すなどの工夫に努める。						
履修登録者数	65名	定期試験受験者数	63名	合格者数	56名	合格率	89%